



なばり

2018年(平成30年) 11月25日発行

主な内容

- 1~3.....平成29年度決算を検証
- 4.....市職員の給与などの状況
- 5.....パブリックコメント
- 6.....教育フォーラム2018
- 7.....伊賀地域二次救急実施病院

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

一般会計歳入

270億 6,805万円

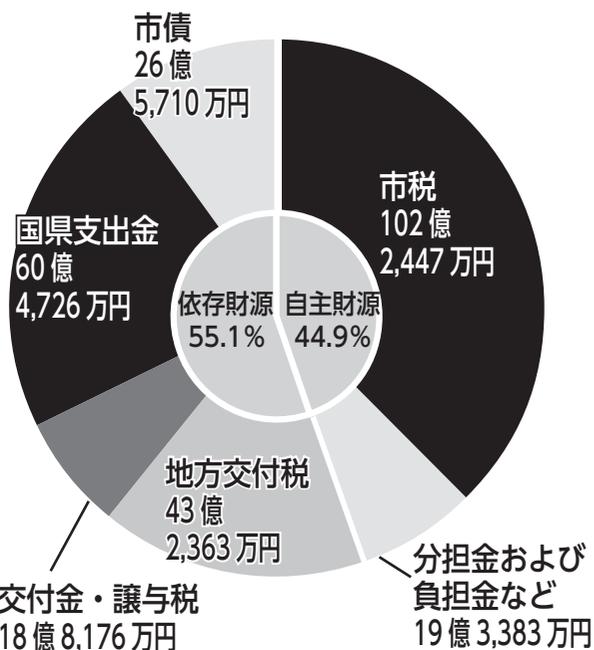
一般会計実質収支

3億426万円の黒字

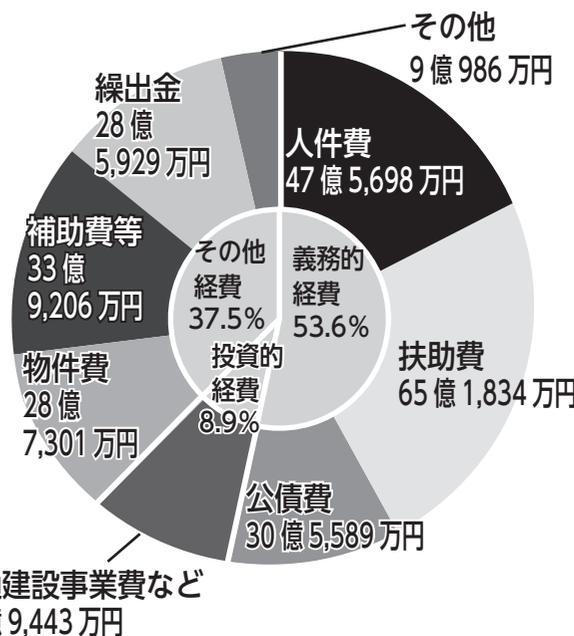
歳入歳出差引額 翌年度繰越財源
(3億821万円-395万円)

一般会計歳出

267億 5,984万円



平成29年度 決算を検証



1~3ページで表記している金額は、表示単位未満を四捨五入してごまかす。そのため、合計が合わない場合があります。

項目	29年度決算額	構成比	対前年比増減率
市税	102億2,447万円	37.8%	0.5%
分担金および負担金	3億1,606万円	1.2%	3.4%
使用料および手数料	2億1,179万円	0.8%	0.6%
諸収入・財産収入・寄附金	5億6,921万円	2.1%	△32.2%
繰入金	5億5,905万円	2.1%	71.1%
繰越金	2億7,771万円	1.0%	△10.6%
小計	121億5,829万円	44.9%	△0.1%
地方交付税	43億2,363万円	16.0%	5.8%
交付金・譲与税	18億8,176万円	7.0%	6.9%
国県支出金	60億4,726万円	22.3%	5.3%
市債	26億5,710万円	9.8%	△11.3%
小計	149億975万円	55.1%	2.2%
合計	270億6,805万円	100%	1.2%

項目	29年度決算額	構成比	対前年比増減率
義務的経費	143億3,121万円	53.6%	1.2%
投資的経費	23億9,443万円	8.9%	△2.9%
その他の経費	100億3,422万円	37.5%	1.9%
合計	267億5,984万円	100%	1.1%

検証1 一般会計歳入

歳入総額は、平成28年度に比べ、3億1,883万円の増となりました。

【自主財源】(市による自前の収入)は平成28年度に実施した市民陸上競技場改修に伴うスポーツ振興くじ助成金が減額したことなどにより730万円の微減となりました。

【依存財源】(国・県からの補助金や借金による収入)は、地方交付税が昨年度と比べて増額となったことや、認定こども園などの整備に伴う交付金など国からの補助金が増額となったことなどにより3億2,612万円の増となりました。市債による借入は3億3,930万円の減となりました。

平成29年度一般会計、特別会計、企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。厳しい財政状況の中、名張躍進のために総合計画にある3つの重点戦略に基づいて事業を展開しながら、黒字決算とすることができました。今号では、平成29年度決算状況についてお知らせします。

園 財政経営室 ☎63・7403

検証2 一般会計歳出(性質別)

歳出総額は、平成28年度に比べ、2億8,833万円の増となりました。

主な増減としては、「義務的経費」では、民間保育所措置費など扶助費が増加したため1億7,002万円の増となりました。「投資的経費」では、台風第21号の被災により災害復旧費が大幅に増額されましたが、市民陸上競技場の改修が終わったことなどから7,122万円の減となりました。「その他の経費」では、国民健康保険特別会計や公共下水道事業特別会計への繰出金の増などに伴い1億8,954万円の増となっています。

平成29年度決算を検証

検証7 企業会計・特別会計の状況は？

企業会計…財政健全化法に基づく資金不足はなし

<病院事業会計>

平成29年度の延べ入院患者数は前年度より4,342人増加し63,653人。延べ外来患者数は前年度より2,610人増加し、87,376人となりました。



入院患者・外来患者数が増加したことから、医業収益は1億3,704万円の増となりましたが、経費や給与費などが増加したことにより、医業収支は前年度より約7,788万円の損失増となりました。

この医業収支に、医業外収支、看護学校収支、老人保健施設収支及び特別損益を加えた平成29年度の決算は、6,096万円の純損失となりました。

区分	収入額	支出額	差引額
収益的収支	54億9,904万円	55億6,000万円	△6,096万円

☎ 市立病院総務企画室 ☎ 61-1100

<水道事業会計>

平成29年度は、老朽施設の更新や改良事業、基幹施設の耐震化工事などを実施したほか、水質検査の適正な実施や水質管理体制の強化により、安全で安定した水の供給、災害に強い水道の整備に取り組みました。



収益的収入は、給水収益が前年度より増となったものの、他会計補助金が減となったことで前年度より511万円の減収となりました。収益的支出は、過年度損益修正損が減少したものの、修繕費・動力費等の費用が増となりました。これらのことから、平成29年度決算は、9,660万円の純利益となりました。

区分	収入額	支出額	差引額
収益的収支	17億6,805万円	16億7,145万円	9,660万円

☎ 上下水道部経営総務室 ☎ 63-4114

特別会計…全ての特別会計で黒字

<特別会計>

区分	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
住宅新築資金等貸付事業	2,195万円	1,875万円	320万円
東山墓園造成事業	3,295万円	3,200万円	96万円
農業集落排水事業	7億7,458万円	7億5,284万円	1,866万円
公共下水道事業	24億5,184万円	23億3,503万円	6,069万円
国民健康保険	95億370万円	93億3,965万円	1億6,405万円
介護保険	67億5,993万円	66億3,512万円	1億2,481万円
後期高齢者医療	15億9,555万円	15億9,514万円	41万円
国津財産区	12万円	11万円	1万円
合計	211億4,062万円	207億863万円	3億7,279万円

※実質収支額については、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた額です。

検証3 市の預金(基金)残高は？

市の預金は3億6,183万円(財政調整基金)

市の預金である基金のうち、年度間の財源の不均衡を調整する基金が財政調整基金です。財政調整基金は、標準財政規模の10%~15%が適正水準とされ、本市では15~20億程度の積立が必要です。

平成29年度は、昨年度比で8,918万円増額し3億6,183万円となりました。今後も計画的な基金の積立に努めます。

(単位:万円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年度末残高	59	59	6,159	27,265	36,183

検証4 市の借金(市債)残高は？

市の借金総額は549億4,341万円

各会計の市債残高を合計すると549億4,341万円となりました。前年度と比較すると水道事業の施設更新などにより全体で0.2%増加しましたが、一般会計では投資事業の抑制により減少しています。

各会計別の市債残高(平成29年度末)

【一般会計】346億6,478万円

【特別会計】住宅新築資金…1,225万円 農業集落排水…37億6,430万円

公共下水道…97億1,320万円 東山墓園造成…1,070万円

【企業会計】水道…18億8,872万円 病院…48億8,946万円

検証5 経常収支比率は99.7%と横ばい

財政構造にゆとりがありません

経常収支比率とは、支出の中で必ず支出しなければならない「経常経費」の占める割合を示します。数値が高いほど財政にゆとりがなく、三重県下での平均は91.2%ですが、本市は99.7%となっており、依然として財政構造にゆとりがありません。

今後も引き続き、事務事業の見直しや投資事業の抑制などを行ない比率の改善に努めていきます。

検証6 財政の健全度は？

早期健全化基準はクリアしました

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれかが、早期健全化基準を超えると「財政健全化団体」となり、今よりも事業の抑制を図らざるを得なくなります。

実質公債費比率は、昨年度と比較して0.2ポイントの増、将来負担比率は、8.5ポイントの減となりました。早期健全化基準はクリアしましたが、実質公債費比率、将来負担比率とも県内で最も高い数値となっています。

健全化判断比率	名張市	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率 借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表すもの	15.9% (+0.2)	25.0%	35.0%
将来負担比率 現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表すもの	185.9% (-8.5)	350.0%	-

※黒字決算であったため、実質赤字比率、連結実質赤字比率の数値の算定はありません。
※算定数値が無いものについては「-」を表示しています。

※()内は平成28年度比

平成29年度

重点事業と取組の成果

平成29年度は、「元気創造」「若者定住」「生涯現役」の3つの重点戦略を着実に前進させてきました。

また、市がこれまで行ってきた施策・事業を振り返り、必要な見直しを行う「行政評価」の取り組みを進めると同時に、市民の皆さんから市の施策について評価していただく市民意識調査の結果も市政運営に活用しています。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389 ☎ 財政経営室 ☎ 63-7403

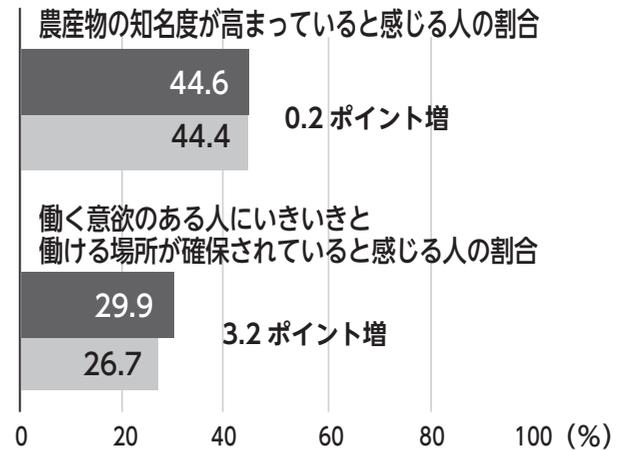
元 気創造 地域産業の振興や雇用・観光



■ 主な取組成果

- **ワイナリーなどの整備事業 7,849万円**
旧国津小学校を6次産業化の拠点とするため国の交付金を活用してワイナリーなどの施設として改修整備
- **新雇用創出事業 3,073万円**
産業チャレンジ支援協議会が産業を活性化するため、さまざまな取り組みを行い、60人の雇用を創出
- **地域活力創生事業 66万円**
都市部で開催される移住フェアへの出展や移住相談員の設置、名張のまちを紹介するツアーの開催など

市民意識調査の結果(抜粋)

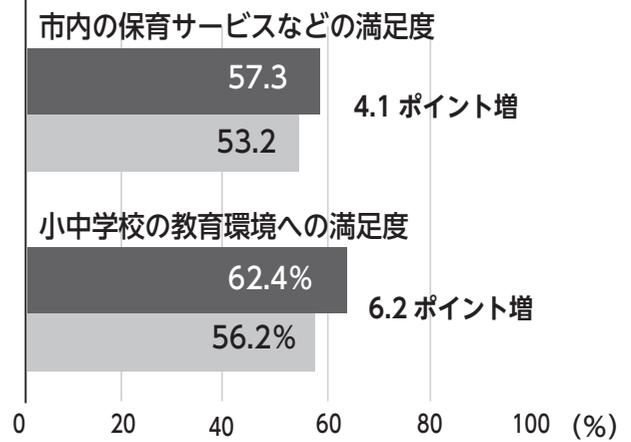


若 者定住 産み育てるにやさしい子育て・教育の充実



■ 主な取組成果

- **民間保育所等施設整備補助金 3億7,800万円**
地域型保育施設の新設および幼稚園・保育園の認定こども園化を支援し、144人分の保育の受け皿を拡大した。
- **こそだてサポーター養成講座 ゼロ予算**
命の大切さや妊婦さんの健康・子育てについて学ぶ、こそだてサポーター養成講座を開始。664人が受講した。
- **小中一貫教育推進事業 81万円**
研究推進校を中心とした英語教育・ふるさと学習などのカリキュラムの実践・検証及びリーフレットの作成による家庭・地域への周知を行った。

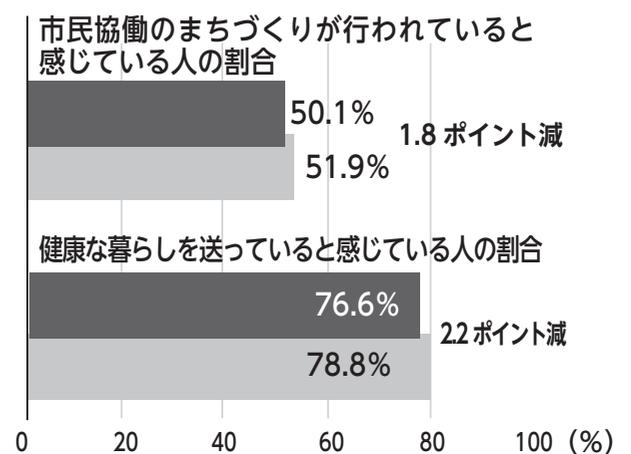


生 涯現役 健康づくり・地域福祉・生涯スポーツの推進



■ 主な取組成果

- **ゆめづくり地域交付金事業 1億619万円**
ゆめづくり地域交付金を15地域に交付した。
- **名張ケンコー!マイレージ事業 35万円**
ケンコー!マイレージが本格稼働。376人がポイントをお買い物券に交換し、健康につながる取り組みをした。
- **ホッケーフェスティバルの開催 50万円**
2021年に開催される三重とこわか国体に向けてホッケー普及のための体験イベントを実施。70人が参加した。



平成29年度の決算総括

平成29年度は、事務事業見直し方針の反映をはじめ、職員給与独自削減の継続など、行財政改革の取り組みを継続しながら、「元気創造」「若者定住」「生涯現役」に重点を置き、互いに支え合い共に生きる社会を目指す「地域共生社会」の創造に向け、事業を進めてきました。

しかし、決算としては災害復旧や病院事業会計への繰出金の増加などに伴い、水道事業会計への償還計画の変更を余儀なくされるなど厳しいものとなりました。

一方、当初の見込みを上回る市税や地方交付税の増収があり、例年並みの剰余金を生み出すことができました。

今後の市財政においては、高齢化による扶助費の増加や現役世代の減少に伴う市税の減収など、将来予測される歳入、歳出双方での影響や、老朽化する公共施設の維持更新経費、小中学校の空調整備などの大型投資事業にも対応していかなければなりません。

財政健全化に向けた課題は山積しており、持続可能な財政運営基盤を早期に確立することを目標に、さらなる行財政改革に取り組んでいきます。